

船舶事故等調査報告書

平成26年12月18日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014那第35号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成26年8月14日 02時15分ごろ
発生場所	沖縄県那覇港北東方沖 那覇港新港第1防波堤北灯台から真方位057° 2.0海里付近 (概位 北緯26° 16.3′ 東経127° 41.3′)
事故等調査の経過	平成26年8月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 ^{ダフォディル} DAFFODIL 88（モンゴル国籍）、80トン
船舶番号、船舶所有者等	36561481、FRABELLE FISHING CORPORATION
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	左舷ビルジキール先端に曲損
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、売船に伴う回航のためにフィリピン共和国に向けて那覇港沖を航行していたところ、天候が悪化するとの情報を入手し、那覇港北東方沖において錨泊中、錨索が破断して風浪に圧流され、平成26年8月14日02時15分ごろ、那覇港北東方沖のヒキイシ瀬に乗り揚げた。 本船は、満潮に合わせて自力で離礁し、那覇港に入港した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 4、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期、波高 約3.0m
その他の事項	錨泊した地点の水深は、約14mであり、船首の錨索は、直径約20mm、長さ約150mのワイヤロープを使用していた。 船長は、本事故後、錨索を点検したところ、中央付近で破断していた。
分析	
乗組員等の関与	不明
船体・機関等の関与	あり
気象・海象等の関与	あり
判明した事項の解析	本船は、那覇港北東方沖において錨泊中、錨索が破断したことから、風浪に圧流されて那覇港北東方沖のヒキイシ瀬に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、那覇港北東方沖において錨泊中、錨索が破断したため、風浪に圧流されて那覇港北東方沖のヒキイシ瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。

参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・天候悪化のため錨泊する際、できるだけ風浪の影響の少ない錨地を選定すること。
-----------	--